



野球で福島を元気に！
繋げよう絆・広げよう地域の輪



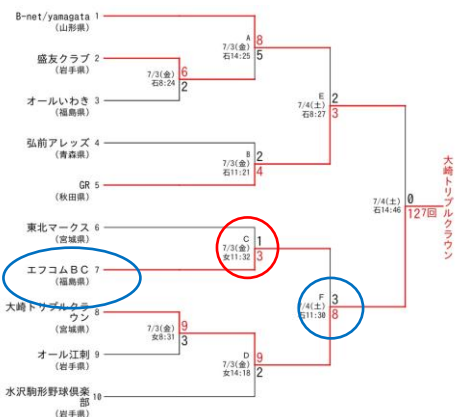
エフコムベースボールクラブ

第50回全日本クラブ野球選手権第二次予選東北大会

◇◇試合結果◇◇

1回戦	V S	東北マークス	(3対1) 勝利
準決勝戦	V S	大崎トリプルクラウン	(3対8) 敗戦
第三代表決定戦	V S	弘前アレヅ	(7対2) 勝利

3年連続全国大会出場決定！！



■敗者代表 1

エフコムBC 1 (福島県)	7/5(日) 7対2	エフコムBC
盛友クラブ 2 (岩手県)	7/4(土) 3対4	
弘前アレヅ 3 (青森県)		

■敗者代表 2

B-net/yamagata 1 (山形県)	7/5(日) 2対9	東北マークス
東北マークス 2 (宮城県)	7/4(土) 1対0	
水沢駒形野球倶楽部 3 (岩手県)		



野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

エフコム道方 康友 監督、主将の松嶋 拓郎 内野手より
本大会のコメントをいただきました!

道方 康友 監督

今回のクラブ野球選手権大会は、福島県内の一次予選を順調に首位通過し、東北地区代表決定戦の二次予選もその勢いで戦うべく準備しましたが、準決勝で思わぬ敗戦をし、第三代表決定戦で何とか勝利しました。スタンドの会社・地域・関係者の皆さんの熱いご声援が大きな支えとなり、厳しい戦いを勇気を振り絞って向かっていきましたことを心より感謝申し上げます。来たる全国大会では、この勢いを勝利に繋げて悲願の日本一を達成すべく選手達と共に全力で戦います! ご支援・ご声援を今後とも宜しくお願いいたします!

松嶋 拓郎 内野手 (主将)

全日本クラブ野球選手権東北二次予選の応援で遠方まで足をお運びいただきありがとうございました。東北二次予選3連覇を目指して臨んだ大会でしたが、第三代表として全国大会出場となりました。全国大会まで約一か月。チームの課題解決はもちろんです、とても個性的なチームですのでその個性を活かし、より応援されるチームを目標に全国大会にむけて準備していきたいと思います。





野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

一回戦 V S 東北マークス

全日本クラブ野球選手権第二次予選東北大会初戦の舞台は宮城県女川球場。初戦先発は安定感抜群のキングこと小口優太郎様。相手は、福島市長杯の決勝で対戦した東北マークス。試合は初回から動く。先頭バッターにヒットを許し、その後エラーが絡み、1失点。先制を取られた直後ソーアウトから意地と気合で吉田、島崎が連続四球をもぎ取り、迎えるは新人中居。

強く振り向いた打球は、高々と舞い上がり逆転3ランホームランでリードを奪い返す。2回以降先発小口が安定感を見せ、ピンチを迎えるもアウトを積み重ね無失点。小口の好投に応えたいエフコム打線だがなかなかチャンスを作れず無得点。

最終的に、先発小口は、9回を投げ切り1失点。2回の3ランホームランを守り切り、3対1で初戦突破。

熱くなりすぎる小口を冷静にさせた高野のリード、立ち振る舞いは『流石』だった。

小口 優太郎 選手

投手/出身校：東海大浦安高校 ⇒ 東海大学

高野 光輝 選手

捕手/出身校：聖光学院高校 ⇒ 敬愛大学



中居 泰雅 選手

内野手/出身校：水城高校 ⇒ ウェルネススポーツ大学

岩崎 凜太郎 選手

外野手/出身校：安達高校 ⇒ 公益文科大学





野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

準決勝 V S 大崎トリプルクラウン

先発は威力が持ち味の山形。初回先頭バッター八百板卓が2球目の真っすぐを迷わず振り抜き右中間へ先頭打者ホームラン。その後もヒットとエラーでチャンスを作り、ライオンキングこと大平のタイムリーが飛び出し幸先よく2点を先制。3回にも1点を追加し、3対0と点差を広げるが、その裏タイムリーを浴び2失点。次の回以降も2本のホームランを浴び、3対5とリードを許す苦しい展開。山形、山上、渡邊拓と3投手で繋ぎ要所で粘りを見せ、打線の奮起を期待。しかし、なかなかここの一番で一本が出ず、3対8と敗戦。

3年連続全国大会出場に向けてエフコムBCは第三代表決定戦で弘前アレックスと対戦する。

山形 胤舜 選手

投手/出身校：弘前学院聖愛高校 ⇒ 青森大学



山上 遼真 選手

投手/出身校：弘前学院聖愛高校⇒仙台大学



八百板 卓丸 選手

外野手/出身校：聖光学院高校



渡邊 拓海 選手

投手/出身校：酒田南 ⇒ 東日本国際大学





野球で福島を元気に!
繋げよう絆・広げよう地域の輪



NEWS



エフコムベースボールクラブ

第三代表決定戦 V S 弘前アレッズ

第三代表決定戦は、初戦で140球の熱投をした小口。中1日での登板だったが疲れを感じさせない投球でスコアボードに「0」を並べる。打線も初回到4番伊藤海のライトへタイムリーヒットで先制。5回にも2アウトから伊藤海がレフトへタイムリー2塁打を打ち昨日まで湿り気味だった打線に火をつけた。続く6回は、先頭渡邊翼がヒットを打ち、その後2アウトとなるも吉田、伊藤琉の連続四死球で満塁とチャンスを作り迎えるは、2打席連続でバント失敗の泣き虫キャプテン松嶋。2球目の真っすぐを完璧に捉え走者一掃のタイムリー二塁打でリードを広げる。8回にヒットとエラーで2点を奪われるも裏の攻撃で松嶋がツーランホームラン、そのまま試合は7対2で勝利。小口は9回を投げ切り2失点。高野、吉田、大川で繋いだ捕手陣の好リードも光った。守備では大迷惑の伊藤海の4打数4安打もチームに勢いを付けた。

総力戦で3年連続で全国の舞台を掴んだ。『優勝旗』という名の忘れ物を取りに行く準備が整った。

大河内 陸 選手
外野手/出身校：福島商業高校



豊川 健太 選手
内野手/出身校：酒田南高校 ⇒ 国際武道大学



伊藤 琉晟 選手
外野手/出身校：酒田南高校 ⇒ 富士大学



河野 勝人 選手
捕手/出身校：聖光学院高校 ⇒ 国士館大学



応援ありがとうございました！

※ユニバーサルデザインフォント「みんなの文字」を使用しております。